

## フローレンス・ンパエイ **Florence Mpaayei**

ケニア／ナイロビ平和イニシアチブ事務局長

### アフリカの女性に紛争が及ぼす影響

選挙後の暴動から脱したばかりの国からやってきた者として、紛争が社会に及ぼす影響、特に女性に与える衝撃の記憶は生々しいものです。2007年12月27日、ケニアの人々は、どちらの候補者に投票しようとも、この選挙は民意を反映したものであることに大きな期待と自信を持って、選挙の投票へ出かけていきました。統計によると、投票者の大多数は女性と若者でした。投票は、地元および国際社会からの選挙監視団、そしてケニアの人々の喜びのもと、滞りなく行われました。異なる政党、機関、団体を取りまとめ、選挙の結果へ敬意を表することを謳った平和憲章へ署名する活動をはじめ、選挙が平和的に行われることを推進するために時間と資源を投入してきた団体の者として、私たちはこの平和的な選挙のプロセスを大変嬉しく思いました。ところがこの幸せな思いは、3日間しか続かないものだったのです。

ケニアは東および中央アフリカ地域で、平和と安定の島として知られています。二国の平和政策（スーダンとソマリア）の仲介をし、割合安定した右肩上がりの経済、活気に満ちた市民社会、そして表現の自由が守られています。ケニアにおける民主主義の成長は、まさにこれらに根ざしていると指摘されます。

女性がマジョリティを占め、平和といわれる時でさえ、世界の他の地域と同様に大半のアフリカ諸国においても女性は苦境に立たされます。それは、女性による貢献がその価値の本質まで認められていない状況であると言えます。アフリカの田舎では、女性が家族の食糧を確保するために畑でせっせと働き、遠くまで歩いて水を汲み薪を集め、子どもたちにインフォーマルな形で教育を与え、そして商売をして家族の総合的な安定を図っています。

アフリカの都会では、やはり女性が日々の活動の中で、家庭の生計を立てています。労働人口中、女性で意思決定の役職に就いているのはわずかで、政治の世界に於いては言うまでもありません。このような背景を考えると、女性は平和な時でさえ、既に不利な立場に置かれていることが見えてきます。

暴力と紛争が起こると、多くの女性はとても危機的な状況に置かれてしまいます。

- 愛する人（家族・恋人・友人など）や夫を失い、息子が戦争に狩り出されることもある
- 子どもたちを餓死や病死、もしくは殺害により失う
- 安全が保障されなくなるため、多くがレイプなどの性暴力にさらされ、兵士のための性サービス提供者として誘拐される
- 争いのある環境でも引き続き子どもたちを養っていくことで、健康状態がひどく悪化する

- HIV ウィルスへの感染、あるいは HIV や AIDS の治療をこれまで通り受けられなくなる
- 識字レベルが低下する
- 戦闘グループの料理人として雇われる
- 難民となることで、尊厳が損なわれる。特に、家族を養い家系を支えてきた経験からの尊厳の損失が大きい。

## 平和構築における介入：ケニアの経験

### ハイレベルで：和平交渉への関与

異なる政治の党派、エスニック・グループ、職業、そして宗教の女性たちが集まり、まず惨事に対する鬱憤を吐き出して、いかに女性の声が平和プロセスにおいて聞かれえるかを確認する。

#### 活動事例：

- 状況分析を行い、2大政党へ勧告
- 記者会見を開催したり、地元および海外のテレビに出演して暴力を止めることを訴え、最善の方法を探るためにも政党や全国の地域社会が対話による解決を支持するよう訴えた
- 女性たちだけの会議でグラサ・マシェル氏と面会
- コフィ・アナン氏率いる調停団へ声明文を提出
- 周辺諸国のさまざまな国会議員と面会
- 東アフリカ小地域女性イニシアティブと面会
- さまざまな協定について、また、それらと女性とジェンダーとの関りについて話し合うフォーラムを開催。

### 中レベルで：女性を組織し、人道的な援助を提供

#### 活動事例：

- 大使館、国際および国内 NGO、企業等へ、次の支援を訴えた：食糧、衣料、レイプ被害により HIV に感染した人のための治療薬を含む医薬品、心のケア、トラウマのカウンセリング、HIV や AIDS 治療を受けている人への抗レトロウィルス薬、ヘルスセンターへの救護
- 国内避難民キャンプの訪問

### 草の根レベルでの介入：地域における対話

#### 活動事例：

- 地域の年長者を動員し、地域全体へ、特に若い世代へ、暴力と物質的破壊を止めることを訴えた
- 死者の埋葬を手伝う
- 良き隣人関係フォーラムを地域で開催
- トラウマを癒すセッション
- 危機について理解するためのコミュニティでの聞き取り